

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		野火止用水保全対策事業費 [ 野火止用水保全対策事業 ]						
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 7	環境保全費	事業番号 6	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名		土木公園（環境） 課 公園緑地（緑化推進）		係	課長名 寺島 由紀夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4 - 5		
【施策名】 緑の保全・創出					総合計画書 (ページ)	91		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	野火止用水			箇所数				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
	市民が水辺の自然に触れることで、健康で快適な生活を営むことができる。			苦情件数				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
	野火止用水、野火止緑地、野火止遊歩道の維持管理			①野火止用水維持管理委託 ②遊歩道清掃除草委託 ③樹木剪定委託 ④定期的な巡回				
	→							
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
対象指標	①の数値	か所	1	1	1			
成果指標	②の数値	件	約15	約15	約20			
目 標	②の目標値	件	0	0	0			
目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 憩いの場として快適に過ごせる環境を目指す								
活動指標	③の数値	回	①1回 ②1回 ③1回 ④週1程度	①1回 ②1回 ③1回 ④週1程度	①1回 ②1回 ③1回 ④週1程度			
3 経費	事業費（実績）		円	9,051,171	19,677,920	29,590,226	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源	円	6,462,573	12,520,809	16,167,462		
		特定財源	円	2,588,598	7,157,111	13,422,764		
			(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0		1.0
		所要人数(再任用)		人	0.3	0.3		0.3
職員人件費(再任用以外)		円	8,310,000	8,310,000	8,250,000			
		職員人件費(再任用)	円	903,000	903,000	906,000		
事業費+人件費		円	18,264,171	28,890,920	38,746,226			
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く 土木公園課（環境課）は、公園、こども広場及び緑地の維持管理を行っているが、職員のみでの維持管理には限界が施設の包括的な管理と同じように、野火止用水の維持管理も指定管理者制度などを検討する必要がある。							
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く 指定管理者制度などの施設の包括管理を、公園及び緑地等を併せて検討する。  ※野火止用水は、都が歴史環境保全地域に指定しており、維持管理を沿川6市に移譲している。							